



令和元年5月1日発行

ヒルズ通信

第96号
社会福祉法人 景誠会
特別養護老人ホーム
ヒルズ勝沼

一丁目



「春の日々」

青葉が目にも鮮やかに、通り過ぎる風も一段と心地好く感じられるこの頃です。ご家族の皆様におかれましては、いかががお過ごしでしょうか。

一丁目では三月中旬から数名の入居者様が体調を崩され、四月に予定していたお花見ドライブを見送ることになってしまいました。そんな中、少しでも春の訪れを感じて頂きたく、暖かな日を選んでヒルズ中庭の桜を親に行きました。

先月から新しい入居者様も入られ、フロアーでは皆様、毎日楽しく思い思いに過ごして歌声や笑い声が聞こえています。また一丁目の玄関には季節の飾りを作り飾っています。新年度となり人事異動で新しく職員



ヒルズ中庭の桜



まるで夏を思わせるような陽気が続いていますが入居者様は体調を崩すことなく元気に過ごされています。二丁目では先月25日に県立博物館に行つて来ました。館内に入ると目の前に石の庭がありました。博物館の職員さんより「この庭は甲府盆地

「県立博物館」

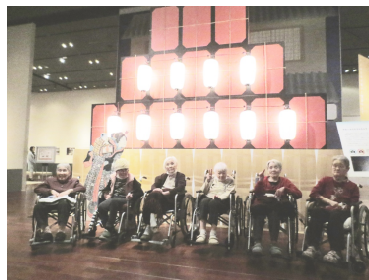
一丁目



も加わりました。年号も新しくなり気分も新たに出入し、これからも入居者様により良い環境で過ごして頂けるよう職員一同お手伝いが出来たらと思ひます。
(岩間 香)



一丁目の様子



をイメージして作っているんですよ」と説明を受けると「そうなんだ、すごいね」と皆様、熱心に耳を傾けていました。明治・大正・昭和の甲府の街の様子や当時の生活を再現したジオラマを見ながら昔を懐かしんでいました。館内をひと回りました。後、テラスでお茶をして帰りました。皆様満足そうでした。今月は皆レストランに行こうと計画中です。これから、ますます熱くなりますが入居者様に寄り添ったケアをしていきますのでよろしくお願ひします。
(山口 拓哉)